

地震・火災時に 建物は大丈夫？

浸水への備えと 早めの避難が大切

《日ごろの備えでは》

地下を利用する人は、その地域の地形や浸水の可能性を知っておき、浸水の恐れのある時には地下に入らないようにしましょう。
また、地下室の管理者は、日ごろから土のうや防水板などを用意しておくとともに、階段には水の勢いに逆らって上れるように手すりを付けておきましょう。

《浸水が始まったら》

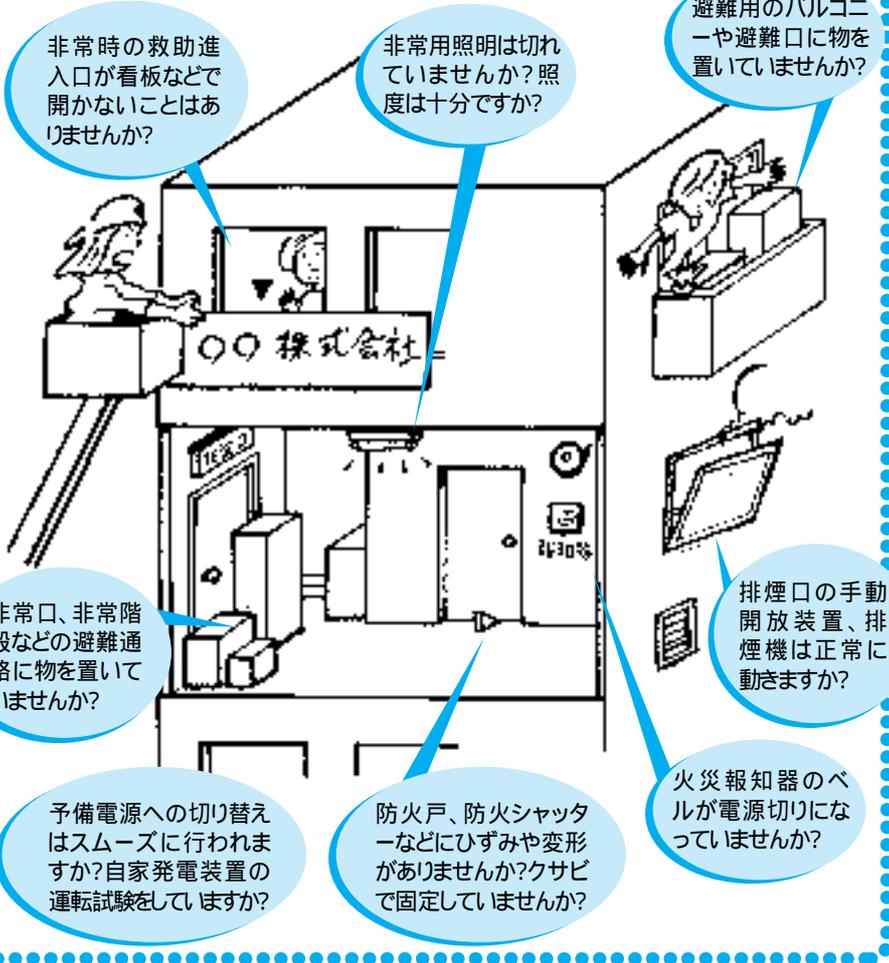
浸水の気配があったら、すぐに地下から避難しましょう。エレベーターは停電で止まる恐れがありますから使わず、建物内部の階段があれば、それを使って避難しましょう。

《新築する場合は》

浸水が多発する地域では地下室をつくらないようにしましょう。また、地下室には内部階段や非常用はしごを設けるほか、地下への出入り口は道路面よりも高くするとともに防水板を取り付けられるようにし、土のうを置くスペースを設けておきましょう。

多くの人が利用する建物では いざという時に備え点検を

ホテル、病院、店舗など不特定多数の人が利用する建物では、地震や火災など万が一の時に安全が保てるよう、日ごろから設備や施設の点検が必要です。維持管理を怠ると、いざという時に被害が大きくなります。安全確保のため、日ごろから設備や施設を点検し、必要があればすぐに改善しましょう。



建築物 防災週間

防災への関心を 高めましょう

8月30日から9月5日は、建築物防災週間です。それに伴い、市では、右記の催しを実施します。ぜひお出かけください。

- 8月26日(土)・27日(日) = 建築防災相談コーナー
場所 / 四日市物産観光ホール(近鉄四日市駅高架下)
- 8月26日(土)~9月4日(月) = 建築防災パネル展(同)
- 8月31日(木) = 建築防災講演会(講師 / 畑中重光三重大学教授)
場所 / 総合会館8階視聴覚室 時間 / 午後1:30~
演題 / 地震にそなえて「既存建物の耐震診断と改修」